

一般質問通告表

1.

9番 西村 一啓 議員

質問形式：一問一答

本市のコロナウイルス感染症の対策の中、財政運営に関わるお考えを、今後はどのように継続していく方法をお考えか、お尋ね致します

コロナウイルス感染症に昨年から、日本国中は勿論世界中においても大変な年ですが、終息宣言が未だ見えないところ、今後の大竹市政について財政的にも減収が見込まれ、行政的にも運営が難しくなると想定出来ると考えられるが、今後の取り組みにどのように対応していくのか伺う。

本市の人口減少化対策や高齢者への対応、若い夫婦の子育てについての対応の、お考えを予算面からお尋ねいたします

本市の人口比率に基づいて今後10年、20年後の現状が推定出来る中、人生100年を想定する中、若い人達への取り組み、高齢者世帯の今後の取り組みについて、本市として今後税収を、これらに活用していく計画を伺う。

また、地域の若い夫婦の子育てに、これら予算規模の中で活用する計画は今以上に出来ないのか伺う。

子育て教育の中、歴史的史実にある西国街道を整備して、もっと広く市民や地元の児童生徒の社会教育に活用する、お考えをお尋ねします

歴史文化はまちづくりの基本PRと考えていることと思われるが、現状にある西国街道の整備についてのお考えや、亀居城の石垣をもっとPRする方法などの取り組みについて考えを伺う。

また、地域の歴史ある遺物を地元の教育に活用していく上でも、費用について、予算的にもっと活用する方法は、考えられないのか伺う。

2.

2番 藤川 和弘 議員

質問形式：一問一答

大竹市を素通りのまちから立ち寄るまちにするために。晴海臨海地区のさらなる活性化

①岩国・大竹道路のトンネル工事が出る残土を利用して、晴海臨海公園の沖に人口ビーチができないか伺う。

②遊具広場は夏に利用する子ども達がいません。子ども達が元気な笑顔で声を上げながら遊べる公園にするために、遊具広場に水で遊ぶ場所を作っていただきたいがお考えを伺う。

大竹市を素通りのまちから立ち寄るまちにするために。三倉岳県立自然公園について

①長い間通行止めとなっている、夕陽岳と中岳の間のルートはいつ通れるようになるか伺う。

②三倉岳の登山者・キャンプ場の利用者の増加や、安心・安全に楽しんでもらうために、本市が県に要望していることは何か伺う。

3.

14番 日域 究 議員

質問形式：一問一答

今年3月議会での市長答弁の訂正を

「地方税法第380条第3項に規定されている資料の1つとして、地番図を備え付けています。」と答弁をいただきましたが、地方税法には「地番図」という文言はありません。法の条文は「条例で定める地籍図・・・」となっています。その間違いでしょうか。

しかし、大竹市税条例の第73条には「固定資産に関する地籍図、土地使用図、土壌分類図及び家屋見取図並びに固定資産売買記録簿その他固定資産の評価に関して必要な資料の様式及びその記載事項については規則で定める」ともあります。整理をお願いします。

土地開発公社の固定資産税免除は地方税法に抗うものです。代表監査委員の意見も伺います

今年5月の土地開発公社理事会で、令和2年度決算に固定資産税の納付がないことの原因を質しました。すると、市長が特例として免除してくれたからだ、との答弁でした。

しかし、この決定は地方税法施行令第49条の四の第3項の規定に反し違法ではありませんか。この条項は、土地開発公社所有地であっても有償で貸し出している土地は課税対象にすると言うものですが、理解しやすい当然のことだと思います。政令が変わった時期に手違いが多発したのか、当時、多くの市町の監査委員が是正勧告を出しています。

4.

8番 北地 範久 議員

質問方式：一問一答

小方地区まちづくりについて

旧小方小中学校などの土地利用の構想について、今後の動きはどのようになるのか現状や進捗状況を問う。

健康づくりについて

「歩く」ということでの健康づくりへの取り組みについて考えを問う。

5.

4番 小中 真樹雄 議員

質問形式：一問一答

スマホの学力に与える悪影響について

東北大学の川島隆太教授は仙台市教育委員会と連携した実態調査を通して、スマホが発達途上の小中学生の学力および脳に与える悪影響について、「スマホが学力を破壊する」(集英社新書)で詳述されています。また、「スマホ脳」などスマホの問題点を説く所もあります。

川島教授は仙台市の中学生を対象にした調査で、家庭学習時間を30分未満、30分～2時間、2時間以上に、スマホ等の使用を全くしない、1時間未満、1～2時間、2～3時間、3～4時間、4時間以上に分けテストの平均点調査をしました。おおむね家庭学習時間が長く、スマホ等の使用時間が短いほうが成績がよいものの、国語・数学に関しては1時間未満の使用が全く使用しない層より若干成績が良かったと指摘しています。短時間の使用で自己規制できているからではないかと論じています。

一方、「LINE」では、そういった現象はあられなく、長時間使用すればするほど、成績が低いそうです。

そこで教育委員会に、児童・生徒のスマホ所有および使用状況、学力との関連性、スマホ使用についての指導方法についてお尋ねします。

教育委員会では、小中学生のスマホ所有や使用頻度について把握していますか。スマホの学力や脳に与える影響について認識していますか。スマホにしても「LINE」にしても、いったん始めると歯止めがかからなくなるおそれがありますが、長時間使用についてどのような対策がなされていますか。さらに、保護者への助言などは行われていますか。

青少年の健全育成の面からしても、スマホの長時間使用は大きな問題だと思います。教育委員会の見解を伺いたいと思います。

6.

5番 中川 智之 議員

質問形式：一括

豪雨災害での市民の避難について

土砂災害特別警戒区域、あるいはその周辺に住んでいらっしゃる方は警戒レベル3以上の発表があった場合、避難するべきだと思うが大半の方が避難していない、その対策について伺います。

大規模盛土造成地の安全性を伺います

住民の不安を取り除くためにも、県のホームページに記載されている大規模盛土造成地の危険があるのかないのか、また、県のホームページに載っていない盛土造成地があるのか伺います。

7.

3番 原田 孝徳 議員

質問形式：一問一答

市営住宅6号棟のガス業者公募について

市営住宅6号棟のガス業者は、「できるだけ料金が安く」かつ「安全性の高い業者」という基準で選定されたが、他の住宅のそれはまちまちであるため、料金や安全面において住宅間で格差が生じてしまっていることは、これまで一貫した管理ができていないということであり、この機会にすべての住宅を同じ基準で公募し、公平性を確保することが市の責務であると考えているがどうか。

8.

16番 山本 孝三 議員

質問方式：一括

新型コロナウイルス感染防止対策について

感染者が増加傾向にあり大変心配です。特に若い年代層への感染が増加しています。市の対応を伺います。

また、PCR検査の感染防止対策と併行しての実施が望まれます。大竹市の実施状況を伺います。

市営住宅解体後の土地利用について

老朽化した平家の市営住宅が解体され、土地はそのままという箇所が見られます。土地利用の具体策を伺います。

戦前の「横穴ごう」の有無・戦後の処理について

盛土と同様の災害要素と考えられませんか。調査・点検の必要はありませんか。御伺いします。